

2023年8月6日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

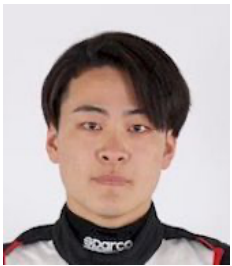
FIA-F4 選手権 第6戦 決勝上位コメント

■ 第6戦 決勝1位 小林利徠斗【#36 TGR-DC RS トムススピリット F4】



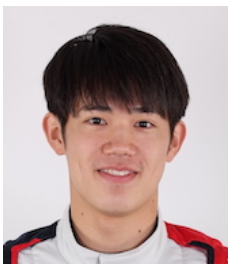
「昨日（第5戦）はタイヤが変わって初めてのレースで、接近戦の中でタイヤの限界がどうなのかわかなくてあまり攻めることが出来なかったのですが、そこで分かった部分があったので今日は攻めることができました。クルマも昨日から再調整してさらに良くなっていて、接近戦の中でも思い通り動かせたと思います。リスタートの際、セーフティカーが思ったよりも近くて仕掛けが遅くなり抜かれてしまうという未熟な部分も露呈することになりましたが、黄旗が出ていたことでワンチャンスになったTGR（第1）コーナーでのオーバーテイクも自信を持っていけました。次の鈴鹿（第7/8戦）も、前回（第3/4戦）はレースで後れをとっていたわけではないので、優勝に向け最善を尽くします」

■ 第6戦 決勝2位 中村 仁【#35 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「途中までの展開は良かったのですが、やはりペースで負けていて、後ろを気にしながらの苦しいレースになりました。ストレート（での速さ）の差が大きかったので、終盤もTGR（第1）コーナーでイエローが出ていなかったらもっと早く抜かれていたと思うし、なんとも言えないですね。走りのスタイルが違うので、小林選手のデータを参考にしつつ、もっと自分自身を極めていかなければならないと思っています。調子自体は良くなっていて勝てる速さはあると思うので、次の鈴鹿（第7/8戦）こそ勝ってみせます！」

■ 第6戦 決勝3位 野村勇斗【#6 HFDP RACING TEAM】



「スタートから1周目までは良かったものの、それ以降は小林選手が速くて抵抗できませんでした。全開区間が長い富士で、これだけのスピード差はきついですね。昨日（第5戦）からセット（アップ）も多少見直したのですが、大きくは変わりませんでした。バトルをしているときはついて行けて、そこは良かったのですが、していないときはかなり厳しかったので、今後改善していきたいと思っています。次の鈴鹿（第7/8戦）は地元なので、やり返したいです」

■ 第6戦 インディペンデントカップ優勝 鳥羽 豊【#63 HELM MOTORSPORTS F110】



「第2戦以降不運が続いていましたが、前を向いて走り続けなければ悪運も振り払えないと思い懸命に走りました。昨日（第5戦）、トラブルを起こしたマシンをチームのメカニックが頑張ってくれたので、今日は絶対に優勝しなければというプレッシャーもありましたが、若手とも良いバトルができたし、久しぶりに勝利できて嬉しいです。次の鈴鹿（第7/8戦）は欠場することになりそうですが、以降の3大会は出場します。有終の美（連覇）は飾れないかもしれませんが、最後まで思い切り走りたと思います」